



特集

# 広がれ！交流の輪

## ～国内交流～

松浦市では、国内交流として北海道鷹栖町と北海道福島町、長野県木曾町との子どもたちを中心とした交流を毎年行っています。



● 北海道  
鷹栖町

北海道  
福島町



● 長野県  
木曾町

● 松浦市



# 「鷹」がつかないだ絆

## —ホークス交流—

### 交流の始まり

全国の「鷹」のつく5市町村が参加した「ホークスサミット」が縁で、平成8年に北海道鷹栖町と旧鷹島町の間で小学生を対象とした「ホークス交流」が始まりました。

### ◆鷹栖町はとつても

#### 「あったかすなまち」

北海道のほぼ中央部に位置する鷹栖町は、人口7,256人（3月25日現在）、面積139.44平方キロメートル。豊かな自然に恵まれた大地が広がり、周りは小高い山に囲まれ、中心部には石狩川に注ぐオサラツペ川が北から南へ貫通しています。

農業が盛んで、道内屈指の米の産地です。また、トマト、キュウリなどの栽培も盛んな町で、町を代表する特産品のトマトジュース『オオカミの桃』は、完熟トマトのおいしさが詰まった逸品で、全国に多くのファンがいます。

とても寒い地域ですが、松浦市の子どもたちをとて温かく迎えてくれる「あったかすなまち」です。

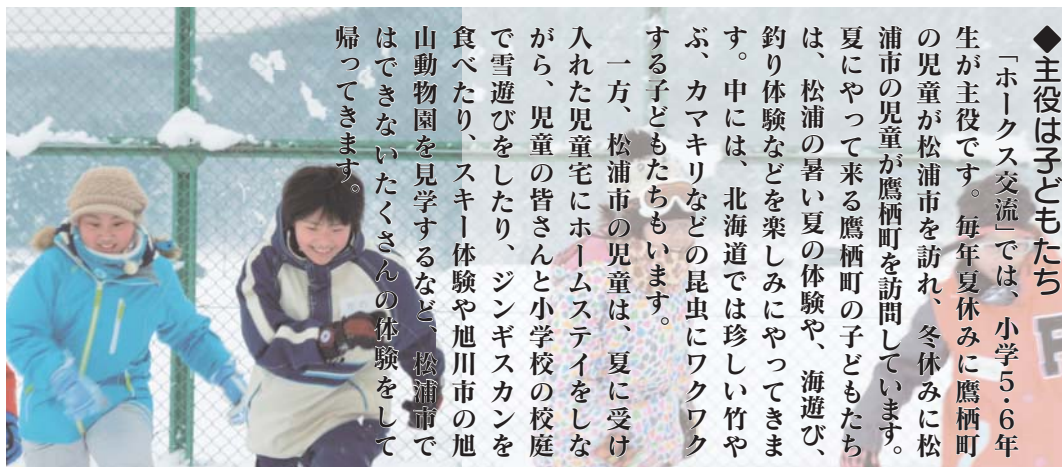


▲鷹栖町のキャラクター  
あったかすくん

### ◆主役は子どもたち

「ホークス交流」では、小学5・6年生が主役です。毎年夏休みに鷹栖町の児童が松浦市を訪れ、冬休みに松浦市の児童が鷹栖町を訪問しています。夏にやって来る鷹栖町の子どもたちは、松浦の暑い夏の体験や、海遊び、釣り体験などを楽しみにやってきます。中には、北海道では珍しい竹やぶ、カマキリなどの昆虫にワクワクする子どもたちもいます。

一方、松浦市の児童は、夏に受け入れた児童宅にホームステイをしながら、児童の皆さんと小学校の校庭で雪遊びをしたり、ジンギスカンを食べたり、スキー体験や旭川市の旭山動物園を見学するなど、松浦市ではできないたくさんの体験をして帰ってきます。



### 平成26年度 ホークス交流事業受け入れ日程

8月6日 夕方、鷹島開発総合センター到着

歓迎会終了後、ホストファミリー宅泊  
8月7日 鷹島島内見学、公民館でそつめん流し  
昼食後、海水浴、モンゴル村でお風呂  
夕食はカレー作り（モンゴル村泊）

8月8日 市長表敬訪問、海きらら見学  
（ホストファミリー宅泊）

8月9日 午前中は小学校の平和学習に参加、午後はホストファミリーと自由行動（ホストファミリー宅泊）  
8月10日 朝、送別会後、松浦出発

### 平成26年度 ホークス交流事業派遣日程

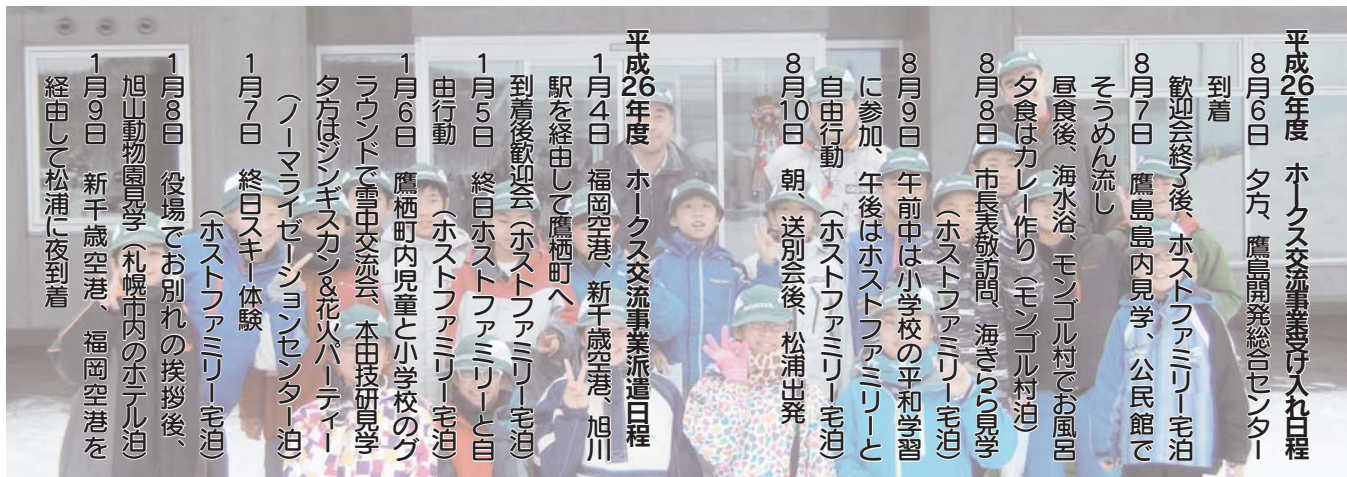
1月4日 福岡空港、新千歳空港、旭川駅を経由して鷹栖町へ  
到着後歓迎会（ホストファミリー宅泊）

1月5日 終日ホストファミリーと自由行動（ホストファミリー宅泊）  
1月6日 鷹栖町内児童と小学校のグラウンドで雪中交流会、本田技研見学  
夕方はジンギスカン&花火パーティー  
（ファミリーセッションター泊）

1月7日 終日スキー体験  
（ホストファミリー宅泊）

1月8日 役場でお別れの挨拶後、旭山動物園見学（札幌市内のホテル泊）

1月9日 新千歳空港、福岡空港を経由して松浦に夜到着



## 平成26年度参加者の感想

※学年は派遣当時のものです。

吉住 香乃（鷹島小学校6年）  
たくさん雪が積もっていて、まわりが真っ白でとてもきれいでした。鷹島では北海道のように雪が積もらないので、鷹栖町ではかまくらなど作ることができて、すごく楽しかったです。

熊本 光希（鷹島小学校5年）  
鷹栖町の雪は白くて、やわらかかったです。鷹栖町の人たちは親切な人ばかりでした。また、必ず友達に会いに行きたいと思います。ホークス交流に参加してよかったです。

吉浦 悠（志佐小学校5年）  
この体験を通して、雪が降るところはいいなあと思っていましたが、雪かきなど北海道の人たちの大変さがわかったので、いい経験になりました。

太田 諒（志佐小学校5年）  
スキーは最初は全然できませんでした。でも基本から教えてもらいながら、いっぱい練習したら、まっすぐ速くすべれるようになったので嬉しかったです。お世話をしてくださった皆さんに感謝しています。